
2025 年度活動報告書

准教授 ホアン・カストロ

学内での活動

授業

- ・メディア表現基礎 2 とメディア表現基礎 3 では、アートと科学、社会の関係をテーマに実施した。特に、現在アーティストが生物学や合成生物学、宇宙科学といった分野の新しい科学技術を使って、どのように制作をしているか、講義と学生相互のディスカッションを行った。
- ・総合学 2 では、アートと生命科学の関係について、深い理解と創造を促した。
- ・メディア表現特論 C では、生命、身体、バイオメディアの概念を探求することで、アート、テクノロジー、哲学等と社会との関係を考察し、検証した。
- ・特別研究では、主指導教員として M2 学生の制作活動の指導を行った。M1、M2 学生の研究や制作活動について、面談と指導を行った。

個人研究

- ・「エクストリーム・バイオロジーズ」プロジェクト研究「エクストリーム・バイオロジーズ」は、バイオテクノロジーと文化の価値観のもつれ、およびそれが生命の進化に与える影響について、宇宙生物学、生物学、メディアアートの視点から実践をしながら考察を深める、実験的なプロジェクトである。このプロジェクトでは、生命の進化、エコロジー、地球温暖化、共存、バイオテクノロジーといった問題に関連したメディアアートの役割について、微生物の観察と実験を行い研究活動を行った。OPEN HOUSE と卒展プロジェクト発表会にて、研究活動の過程と成果を展示した。

委員会

- ・ 交換留学制度と海外交流 WG を担当し、企画・運営をしていた。学生委員会、入試実施委員会、ハラスメント相談員のメンバーをつとめた。

学外での活動

展覧会

- ・スイトピア×イアマス連携展示「エクストリーム・バイオロジーズ展」

2025年12月6日～14日、大垣市スイトピアセンターアートギャラリーにて、スイトピア×イアマス連携展示「エクストリーム・バイオロジーズ展」を開催した。本展は本学のプロジェクト活動、エクストリーム・バイオロジーズについて研究活動の紹介、作品制作、ワークショップの記録などを展示した。

- ・展覧会「Emergent Horizons」

2025年6月15日～8月31日、ArtFocus（北京）にて開催された展覧会「Emergent Horizons」で、作品「FORMATA」が公開された。

ワークショップ

- ・バイオアートのワークショップ「スイトピアでクマムシを見つけよう！」

2025年9月21日と23日、大垣市スイトピアセンターで小学生とその家族を対象としたバイオアートのワークショップ「スイトピアでクマムシを見つけよう！」を行なった。

メディア掲載

・読売新聞にエクストリーム・バイオロジーズ展やバイオアートについて取材を受け、2025年12月11日付けで掲載された。

- ・岐阜新聞にエクストリーム・バイオロジーズについて、2025年12月06日付けで掲載された。